

市町村の建設技術職員育成を支援します！
～ 積算・施工監理などの実務経験を通じて技術力を向上 ～

「市町村実務研修生受入制度」を令和4年4月からスタート

■概要

- 県内市町村の建設担当職員を当センターの実務研修生として受け入れ、積算や施工監理、橋梁点検等の実務経験を集中的に積んでいただくことで、技術職員としての技術力向上に貢献します。**※実務研修生の身分は市町村職員**

■対象職員

- 建設担当部署に配属後1～3年程度又は積算業務の経験が浅い市町村職員

■受入期間

- 原則、1年又は2年

■受入人数

- 2名程度／年

■研修内容

- 積算・施工監理（当センターが受託した工事の積算・施工監理の実務）
- 橋梁点検（当センターが実施する橋梁点検の実務）
- 各種研修への参加（秋田県や当センター等が開催する研修への参加）など

■負担金

- 実務研修に係る**負担金はありません。**

（注）実務研修生の給料及び手当（当該実務研修に係る時間外手当・休日勤務手当を除く）は市町村が負担



※ 経験年数や受入期間、研修内容については、市町村のご要望に応じ柔軟に対応します。
お気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

一般財団法人 秋田県建設・工業技術センター 総務企画部 総務企画課